

## [057]九州大学応用力学研究所所報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4787632>

---

出版情報：応用力学研究所所報. 57, 1982-10. 九州大学応用力学研究所  
バージョン：  
権利関係：





故 田 才 福 造 博 士

## 田才福造教授を偲んで

田才福造教授の追悼記念号が作成されるに当たり、その序文を記するよう命ぜられた。先生は昭和56年10月10日この世を去られたが、最後の1年間医師として身近に接する機会が多かったが故であろう。悲しくも厳しい役目ではある。人皆何れは死を迎えねばならぬのであるが、それ迄に人間として生きた証しの何ものかを残すこととなる。人それぞれの生涯ではあるが、個人が評価されるものの一つに、自らの死を察知した時、残された余生を如何にして生きたかということをおげることができる。

生きている間にやり得た仕事の量と、それに費された年月は問題ではない。記録として残されたものの持つ価値である。田才先生は停年を前に60才の生涯を閉じられたが、後世に伝える意義あるお仕事がここに集大成されたのである。その最後の1年間は床上にあって病苦と闘いながら綴られた、学者としての学問の記録である。内容に関して論ずる資格はないが、床上にあって書き続けられた200頁を越える原稿が掉尾を飾っているものと思われる。それがどのようにして綴られたか、床上の先生の素顔を記しておくことは無縁ではない。むしろこの業績集に秘められた心であると考へ、主治医として仕えた綾部善治君の記憶を織り混ぜて書き記すこととした。

田才教授は昭和55年8月血痰を主訴として九大呼吸器内科に入院された。9月初旬治療のため放射線科に転棟されることになったが、当時既に自らの命は55年末迄であると覚悟されていたということである。病状は決して楽観を許さぬ性質のものであったが、予定された治療を計画通り終了され、3カ月後に強化療法を行なうことを約束して12月6日退院された。その後しばらくは良好な経過であったが、翌年2月半ば頃より腰痛を来すようになった。強いてこれを訴えようとされなかったようであるが、症状は次第に増悪し、3月23日再入院された時は痛みと筋力低下のため歩行も困難な状況であった。ともあれ、一時的にせよ退院できたことは自らの予想を越えた出来事であったのか、再入院後も希望をもって病氣と闘われ、お見舞の方が来られた後で、「もう終いだと思ってアイディアを聞きに来た。でも絶対に教えないよ。私がやりますから。」主治医は幾度かそのような述懐を聞き、その度に心を痛めた。治療がよく奏功して痛みは軽減し、筋力も少しずつ回復した。5月に入ってから歩行練習を始められるほどになった。期するところがあつたのかもしれない。かねて先生が強く要望されていた講座の新設が認められ、5月27日に担当教授を選考する教授会が行なわれることとなった。研究所長からの要請があり、先生も許可が得られれば是非出席したいというお気持ちであった。主治医を始めとする周囲の協力により車椅子

にて出席され、無事教授会を終えられたのは思い出深い出来事であった。その後自覚症状は一進一退であったが、種々の治療を試みたにも拘らず病状は徐々に進展の一途を辿り、8月に入ってからは両脚の麻痺のため起立不能となり、重篤な障害が次々と出現し、10月10日遂に鬼籍に入られた。

私が病室を訪ねる時間は特に定まっていなかったが、いつ伺っても上半身を少し起した形で論文を開いておられるか、原稿用紙に筆を走らせておられるかであった。最も先生を苦しめたのは身体各部の疼痛であった。大変我慢強い方であったが、急いでしなければならない仕事ができ、それが痛みの発作のために思うようにならないと大変不気嫌になられ、苦痛を訴えられた。しかし鎮痛剤投与などで疼痛が柔らいでくるとすぐに気嫌をなおされ、仕事に没入されたと主治医は語っている。仕事をする予定がない時は少々の痛みは外に出されず、そんな筈はないのにと思う程平静を保っておられた。御工合をお尋ねしても「今日はもう大丈夫でしょう。良い方に向いつつあるので、」という御答えが帰ってくるのが常であった。そのようにして最後迄私には愚痴をこぼされることなかった。教授会へ出席されたのは治療効果のあった丁度の時、時期に恵まれたとはいえ、大部分は気力で終始されたように思われる。全身状態がかなり悪くなり苦しまれる時間が長くなってからも、輸血などで少しでも気分がよくなると仕事に精を出しておられた姿が目には浮かんでならない。このようにして主要テーマに限っただけでも200頁を越える原稿が出来上っていたという。これ以外に大学院生の論文の校閲を始め、他の論文などどれ程のお仕事か病床に於てなされたかは明らかでない。唯自らの命のある間に自分でなくてはやれない仕事だけは完成させておくという、すさまじいばかりの強靱な意志と学問に対する情熱とである。唯々頭を下げる以外はない。最後に九大内の特別制度を使っての特許第1号が認められるかどうかの判定結果をお知らせできずに終わったのが主治医綾部君の心残りであったという。

おだやかに臉を閉じられたお顔にはやれる限りのことはやったという満足と、これですべての肉体的苦痛より開放されるという安らぎが感ぜられた。学者として真理に向っての限りなき探究の教えを、田才先生は最後の1年間身をもって我々に示されたのである。同じ道を歩むべき一後輩として、深い畏敬と、心からなる感謝をこめて、田才福造先生の魂がこの中に永遠に生き続けられることを願って止まない。

昭和 57 年 5 月

## 田才福造著書論文一覽

著書論文名	発行年月	備考
推進器翼の強度に就いて	昭 22. 5	造船学研究所 第 1 号
荒天に於ける船の速度低下について	昭 24. 7	流体力学研究所報告 Vol. VI, No. 1
船の上下動揺並びに縦動揺に於ける減衰力及び付加質量について	昭 34. 7	造船協会論文集 105 号
柱状体の強制上下動揺によって生ずる進行波高の計測	昭 35. 7	造船協会論文集 107 号
Plunger type 造波機の特徴	昭 35. 7	応用力学研究所所報 第 15 号
船の Heaving 並びに Pitching に対する付加質量及び減衰力 (続)	昭 36. 3	西部造船会会報 第 21 号
水面に浮んだ柱状体の Free Heaving に就いて	昭 36. 3	西部造船会会報 第 21 号
自航模型船によるプロペラ起振力の測定	昭 36.10	西部造船会会報 第 22 号
水面に浮んだ柱状体の左右揺によって生ずる Hydrodynamic Force 及び Moment	昭 36.12	造船協会論文集 110 号
船舶の甲板上への海水打込みに関する一考察(寄書)	昭 36.	応用力学研究所所報 第 18 号
Beam Sea における船体運動	昭 40. 8	西部造船会会報 No. 30
船の横揺の運動方程式について	昭 40.12	応用力学研究所所報 第 25 号
斜波の中の Sway, Yaw, Roll の運動について	昭 41. 7	西部造船会会報 No. 32
海洋災害研究用大水槽について	昭 41. 7	西部造船会会報 No. 32
海洋災害研究用大水槽および実験設備について	昭 42.10	応用力学研究所所報 第 26 号
縦波中の船の Pitching, Heaving に関する模型実験	昭 42.10	応用力学研究所所報 第 26 号
肥大船模型の船尾附近の水流について	昭 42.	応用力学研究所所報 第 28 号
実船における境界層の計測 (第 1 報)	昭 42.	応用力学研究所所報 第 28 号
実船における境界層の計測 (第 2 報)	昭 42.	応用力学研究所所報 第 28 号

Beam Sea Condition における船体に働く変動圧力	昭 43. 2	西 部 造 船 会 会 報 第 35	号
実船における境界層の計測 (I)	昭 43. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 36	号
肥大船の耐航性能に関する研究	昭 44. 2	西 部 造 船 会 会 報 第 37	号
規則波中の応答理論および計算法	昭 44. 7	耐 航 性 シ ン ポ ジ ウ ム (造船学会)	
実船における境界層の計測 (第3報)	昭 44.	応 用 力 学 研 究 所 所 報 第 32	号
Short Crested Wave 中を航走する船の縦揺と上下揺	昭 44.	応 用 力 学 研 究 所 所 報 第 33	号
Semi-Submersible Catamaran Hull の規則波中の運動について	昭 45. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 40	号
実船における境界層の計測 (II)	昭 45. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 40	号
一軸高速コンテナ船の縦波中の耐航性能に関する研究	昭 46. 3	西 部 造 船 会 会 報 第 41	号
Short Crested Wave 中における Sway, Yaw および Roll の運動について	昭 46. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 42	号
Semi-Submersible Catamaran Hull の浅吃水時における動揺	昭 46. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 42	号
油槽船B丸の航海性能の調査	昭 46. 7	西 部 造 船 会 会 報 第 42	号
海洋開発技術の現況と展望	昭 47. 12	九州山口経済連合会出版	
海洋波の計測法の開発研究 (I)	昭 48. 3	応 用 力 学 研 究 所 所 報 第 39	号
海洋波のシミュレーションに関する研究	昭 48. 3	応 用 力 学 研 究 所 所 報 第 39	号
幾何学的相似模型船による実験 (その1) 抵抗試験	昭 48. 2	西 部 造 船 会 会 報 第 45	号
超高速3軸コンテナ船の波浪中の模型実験および理論計算	昭 48. 2	西 部 造 船 会 会 報 第 45	号
海洋開発の工学的諸問題 一波のエネルギーと海洋構造物一	昭 48.	学 術 月 報 第 25 卷	12 号
上下揺する半没水円柱に働く非線型流体力について	昭 48. 8	西 部 造 船 会 会 報 第 46	号
上下揺する半没水円柱に働く非線型流体力について	昭 48. 11	応 用 力 学 研 究 所 所 報 第 40	号
超高速3軸コンテナ船の耐抗性能に関する研究	昭 48. 4	三 井 造 船 技 報 第 82	号

横運動方程式の流体力について	昭 48. 8	西 部 造 船 会 会 報 号 第 46
船体の Wave Induced Vibration 計算法に関する一考察	昭 48.11	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 40
海洋波の計測法の開発研究(2)海洋波の方向スペクトルについて	昭 48.11	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 40
横運動方程式の流体力について	昭 48.11	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 40
浮遊式海洋構造物の波浪中の運動・強度の推定法に関する研究	昭 48.12	日 本 造 船 学 会 論 文 集 号 第 134
規則波中の2次元物体に働く漂流力について	昭 49. 3	関 西 造 船 協 会 会 報 号 第 152
縦波中を航走する肥大船の船首部に働く流体力について(第1報)	昭 49. 8	西 部 造 船 会 会 報 号 第 48
船体の Wave Induced Vibration の計算法について	昭 49. 8	西 部 造 船 会 会 報 号 第 48
波浪に対する浮遊構造物の動的応答	昭 49.11	日 本 造 船 学 会 「海洋工学シンポジウム」 テ キ ス ト
海洋構造物に作用する荷重外力の解析	昭 50.	海 洋 土 木 総 合 講 座 テ キ ス ト
浮遊構造物の動揺と波浪荷重	昭 51.	第 12 回 水 工 学 に 関 する 夏 期 研 修 会 講 義 集
海洋構造物の動的応答の推定に関して	昭 51.11	日 本 造 船 学 会 誌
海上実験による海洋観測ステーションの開発研究(第1報)	昭 52. 9	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 46
制限水路における船体運動について	昭 53. 8	西 部 造 船 会 会 報 号 第 56
海上実験による海洋観測ステーションの開発研究(第2報) — 1点係留式スパーブイ型ステーションによる海洋波浪の計測 —	昭 54. 3	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 49
海上実験による海洋観測ステーションの開発研究(第3報) — 1点係留式スパーブイ型ステーションの横及び縦揺れ特性 —	昭 54. 3	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 49
一点係留式スパー型海洋観測ステーション	昭 54. 8	海 洋 開 発 Vol. 12, No. 4
総合ブイシステムによる海洋計測法の開発研究(第1報)	昭 55. 9	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 52
振動する繫留鎖の挙動と張力	昭 55.11	日 本 造 船 学 会 論 文 集 号 第 148
スパーブイの深海波中の上下揺応答に対する水面下形状の影響	昭 56. 2	応 用 力 学 研 究 所 所 報 号 第 54

非定常流中の物体に働く流体力及びその無次元係数 —付加質量係数と質量係数—について	昭 56. 2	応用力学研究所所報 第 54 号
風, 潮流及び波浪に対する Articulated Tower の応答計算法 (その 1)	昭 57. 10	応用力学研究所所報 第 57 号
風, 潮流及び波浪に対する Articulated Tower の応答計算法 (その 2—2 関節式 Articulated Tower)	昭 57. 10	応用力学研究所所報 第 57 号
円柱の流体力係数 $C_M, C_D$ に関する実験的研究につ いての一考察	昭 57. 10	応用力学研究所所報 第 57 号
On the Damping Force and Added Mass of Ships Heaving and Pitching	昭 34.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. VII, No. 26
Measurements of the Wave Height Produced by the Forced Heaving of the Cylinder	昭 35.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. VIII, No. 29
Damping Force and Added Mass of Ships Heaving and Pitching (Continued)	昭 35.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. VIII, No. 31
Formula for Calculating Hydrodynamic Force of a Cylinder Heaving on a Free Surface ( $n$ -Parameter Family) (Note)	昭 35.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. VIII, No. 31
On the Free Heaving of a Cylinder Floating on the Surface of a Fluid	昭 35.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. VIII, No. 32
Measurement of Propeller Forces Exciting Hull Vibration by Use of Self-Propelled Model	昭 36.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. IX, No. 33
Hydrodynamic Force and Moment Produced by Swaying and Rolling Oscillation of Cylin- ders on the Free Surface	昭 36.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. IX, No. 35
Wave Height at the Side of Two-dimension- al Body Oscillating on the Surface of a Fluid	昭 36.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. IX, No. 35
Added Mass and Damping Coefficient	昭 37.	SNAJ 60th Anniversary Series
Supplementary Data for $\bar{A}_2$ and $K_4$ (Note)	昭 37.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. X, No. 39
Equipment for Measuring Six Motions of a Ship Model	昭 40.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIII, No. 45
Ship Motions in Beam Seas	昭 40.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIII, No. 45
On the Swaying, Yawing and Rolling Motion of Ship in Oblique Waves	昭 41. 12	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIV, No. 47
An Approximate Calculation of Hydrodynamic Pressure on the Midship Section Contour of a Ship Heaving and Pitching in Regular Head Waves	昭 41.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIV, No. 48
Improvement in the Theory of Ship Motion in Longitudinal Waves	昭 44. 9	Appendix of the 12th I. T. T. C

Effect of Shallow Water on the Natural Period of Heave	昭 43.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XVI, No. 54
A Study on the Seakeeping Qualities of Full Ships	昭 43.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XVI, No. 55
Methods of Studies on Floating Structure in Rough Seas	昭 44.	Proc. 1st Intern. Oceanology Conf., Brighton
On the Deck Wetness and Slamming of Full Ship Forms	昭 44. 9	Written contribution at the 12th I. T. T. C.
A Study on the Motions of a Semi-Submersible Catamaran Hull in Regular Waves	昭 45.	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XVIII, No. 60
On the Wave Exciting Force and Response of Whipping of Ships	昭 45. 4	European Shipbuilding Vol. XIX, No. 4
Measurements of Boundary Layers of Ships (I)	昭 46.	J. S. N. A. Japan Vol. 7
On the Sway, Yaw and Roll Motions of a Ship in Short Crested Waves	昭 46. 7	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIX, No. 62
Measurements of Boundary Layers of Ships	昭 46. 10	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIX, No. 63
The State of the Art of Calculations for Lateral Motions	昭 47. 9	Proceedings 13th I. T. T. C.
On the Oscillations of a Semi-Submersible Catamaran Hull at Shallow Draft	昭 47. 1	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XIX, No. 64
Prediction of Motion and Strength of Floating Marine Structures in Waves	昭 49. 9	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XXII, No. 69
A Study of Motion and Strength of Floating Marine Structures in Waves	昭 49. 5	Paper of the 6th Offshore Technology Conference
Distribution of Forces around the Hull in Waves, Including Whipping and Springing	昭 50. 9	Report of Seakeeping Committee, 14th I. T. T. C.
Non-linear hydrodynamic forces acting on cylinders heaving on the Surface of a fluid	昭 51. 11	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XXIV, No. 77
Ship Motions in Restricted Waters (—Tank Tests—)	昭 53. 7	Rep. Res. Inst. Appl. Mech., Vol. XXIV, No. 81
A study on a stable platform for oceanographic research	昭 53. 9	Proceedings of the 15th I. T. T. C.

- A Single Point Mooring Spar Buoy for Measuring Ocean Waves 昭 55. Ocean Engineering  
Vol. 7., No. 1
- Characteristics of the Spar Buoy Type Floating Station Developed by the Research Institute for Applied Mechanics of Kyushu University 昭 55. 8 中 国 造 船  
No. 70
- Observation of the Power Spectrum of the Ocean Waves Using a Cloverleaf Buoy 昭 55. 2 J. of Physical  
Oceanography  
Vol. 10, No. 2